

# 「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」の試験導入を開始します！ ～ Bridge プロジェクト ～

横浜市教育委員会では、平成 30 年 3 月に策定した「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」において、ICT 等を活用した業務改善支援を掲げており、その取組の一つとして、学校と家庭との連絡・情報共有の効率化を目指す「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」を一部の学校で試験導入します。

## 1 Bridge プロジェクトの概要 ～学校と家庭との懸け橋・紙からデジタルへの懸け橋・現在から未来への懸け橋～

### (1) プロジェクトの内容

学校と家庭の情報共有における様々な課題の解決に向け、民間企業\*と協働し、「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」を市立学校 6 校（小学校・中学校 2 校ずつ、高等学校 1 校、特別支援学校 1 校）に試験導入します。迅速・的確な情報共有の実現、ペーパーレスの推進、そして、保護者と教職員双方の負担軽減を目指します。

※ 株式会社 137（代表取締役社長 黒田千佳（事業構想修士））：市内 10 区で、緊急時情報伝達システムの導入実績がある事業者です。

### (2) プロジェクト期間

2019 年 3 月 4 日から 2020 年 3 月 31 日まで

## 2 「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」の概要

### 機能① 24 時間欠席連絡受付 ～朝の連絡方法を変える！～

- ・保護者は専用ダイヤルに電話し、音声ガイダンス（多言語対応：日本語、中国語、スペイン語、英語）に沿って欠席や遅刻情報を入力します。
- ・学校では自動集計された欠席連絡を確認でき、システム上で欠席者の保護者へ連絡を送ることもできます。

これまで 連絡帳や電話で連絡



これから システムに入力

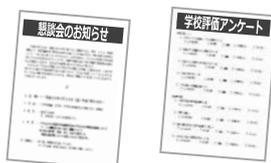


「こちらは〇〇学校欠席・遅刻連絡ダイヤルです」  
「病気の場合は①を」  
「けがの場合は②を」  
「その他の場合は③を」  
「遅刻の場合は④を…」

### 機能② 学校情報のデジタル配信&返信 ～紙文化を変える！～

- ・学校からのお知らせ（各種お便り、アンケートなど）が保護者の端末（PC やスマートフォン）に届きます。
- ・保護者は、個人の端末（PC やスマートフォン）からアンケートへの回答や申込みを行うことができます。
- ・アンケート結果は、自動集計（グラフ化含）されます。また、未回答者へのリマインド機能も備えています。

これまで 紙で配布、回収



これから PC・スマホで受信・回答



### 機能③ 災害時等緊急情報の送信&返信 ～子どもの安心を担保する！～

- ・緊急災害時の連絡は、保護者が指定した形式（テキストまたは音声）で配信されます。
- ・保護者は「〇時に迎えに行く」等の返信ができ、学校ではその情報を子どもに伝えることが可能となります。

これまで 一方通行の連絡



これから 双方向の情報共有



「〇時に迎えに行けます」

### 3 今後の対応について

2019年3月中 試験導入校（市立学校6校）へのシステム導入、学校・保護者への説明、保護者の利用登録  
2019年4月～ 試験導入校での試験運用開始  
2019年7月頃 学校、保護者へのアンケート実施

※プロジェクトによる検証結果を踏まえ、学校と家庭をつなぐ情報共有の在り方について検討します。

### 4 試験導入校について

#### ○小・中学校

- ・横浜市立市ヶ尾小学校（青葉区）
- ・横浜市立上菅田小学校（保土ヶ谷区）
- ・横浜市立鴨居中学校（緑区）
- ・横浜市立蒔田中学校（南区）

#### ○高等学校

- ・横浜市立みなと総合高等学校（中区）

#### ○特別支援学校

- ・横浜市立左近山特別支援学校（旭区）【本年4月開校予定】

### 5 取材について

○各学校への取材を希望する場合は、下記担当へ事前にご連絡ください。

お問合せ先

教育委員会事務局教育政策推進課 担当課長 島谷 千春 Tel 045-671-3771